

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 30 日	
山梨県知事	
長崎 幸太郎 殿	
提出者	鹿島道路株式会社横浜支店
住所	神奈川県横浜市北軽井沢63
氏名	支店長 井上 孝博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	045-312-8063
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鹿島道路株式会社 横浜支店
事業場の所在地	神奈川県横浜市北軽井沢63
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (1年間)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 建設工業業
② 事業の規模	製造業 製造品出荷額 1,475百万円 建設業 エリア内元請完成工事高 6,950百万円
③ 従業員数	102人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・アスガラ 再生利用業者へ委託 → 材料として再資源化 ・コンガラ 再生利用業者へ委託 → 材料として再資源化 ・路盤材 再生利用業者へ委託 → 材料として再資源化 ・管理用混合 再生利用業者へ委託 → 原料として再資源化 ・汚泥 再生利用業者へ委託 → 原料として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙記載

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	排 出 量_	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	排 出 量_	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生利用する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

じ

と。

中

間

量

行

取

あ

へ

と

の

入

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

建設副産物管理体制組織図

(管理体制)

【本店】

(社長の任命) 建設副産物管理担当者

本店建設副産物管理委員会

【支店】

(支店長の任命) 建設副産物管理者

支店建設副産物管理委員会

【営業所・工事事務所】

(営業所長・工事事務所長の任命) 営業所・工事事務所建設副産物管理者

(営業所長・工事事務所長の任命) 建設副産物責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	路盤材	管理用混合	汚泥
	排出量	37,229 t	73 t	234 t	0 t	13 t
	（これまでに実施した取組） 再生利用している					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	路盤材	管理用混合	汚泥
	排出量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 今後も再生利用する					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンガラにアスガラが混入しないように保管している。					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記取組みを継続していく					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	路盤材	管理用混合	汚泥	
①現状	全処理委託量	37,229 t	73 t	234 t	0 t	13 t
	最良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量	37,229 t	73 t	234 t	0 t	13 t
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
	（これまでに実施した取組） ・全て再生利用委託業者へ委託している ・マニフェストによる最終処分の確認を徹底し、現地確認を行い、処理業者に 問題が無く、適正に処理されていることを確認している。					
【目標】						
産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	路盤材	管理用混合	汚泥	
②計画	全処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	最良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
	（これまでに実施した取組） ・今後も全て再生利用業者へ委託する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。					